

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

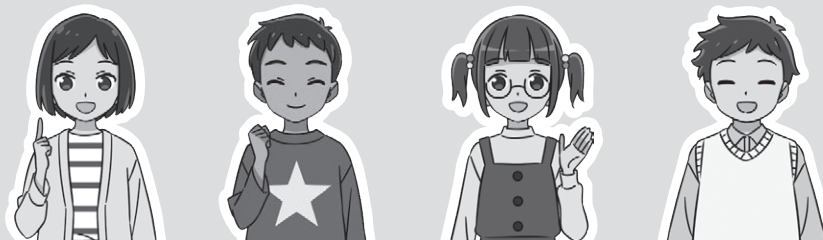
受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104—213	小学校	道徳	道徳	第4学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
116 日文	道徳 415 道徳 416	小学道徳 生きる力 4 小学道徳 生きる力 4 道徳ノート		

1. 編修の基本方針

— 子どもたちの「心はずむ」日々のために —

道徳科は心を育てる特別の教科です。

子どもたちが、よりよく「生きる力」を育みながら、
「心はずむ」日々を送れるようにと願い、私たちは、この教科書を編修しました。



本教科書は、教育基本法第2条に示す「教育の目標」を実現するため、次の基本方針を定めました。

基本方針

1

「自分を、まわりの人を大切にする力」を育みます

- 自分を見つめ、自分のよさについて考えます。
- 自分を支えてくれるまわりの人の存在の大切さに気づきます。
- 互いを理解し、尊重し合える人間関係を築こうとする心が育ちます。



基本方針

2

「自ら学びに向かう力」を育みます

- 見通しをもって学習が進められる、わかりやすい教科書です。
- もっと深く考え、もっと話し合いたくなる、主体的・対話的な学びを促します。
- 多面的・多角的な見方、考え方へと視野を広げる資料が豊富です。



基本方針

3

「みんなと生きていく力」を育みます

- society5.0時代を支える子どもたちと、現代のさまざまな課題に関する多様なテーマについて考えます。
- 多様な人々と協働して、問題を解決しようとする意欲と人間力を養います。





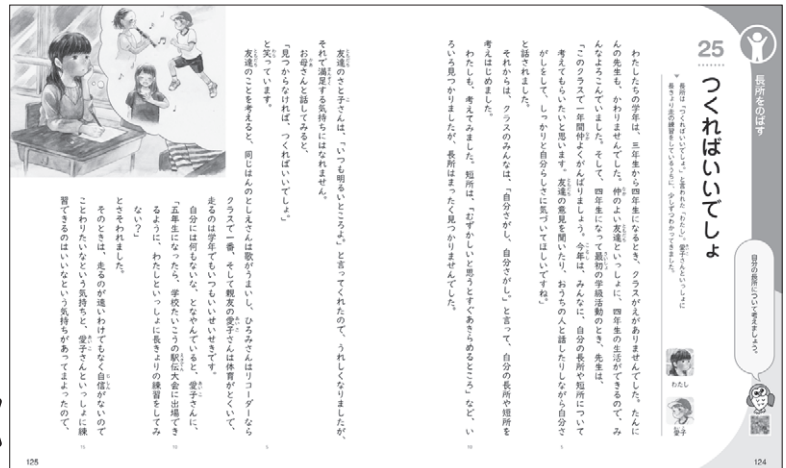
「自分を、まわりの人を大切にする力」を育みます

① 自分のよさを見つめられる教材

「個性の伸長」「感謝」の項目を重視しました。諸外国と比較して低いとされる児童の自己肯定感を養い、まわりの人に支えられて自分が存在していることに気づくことで、自分もまわりの人も大切に思える心を育みます。

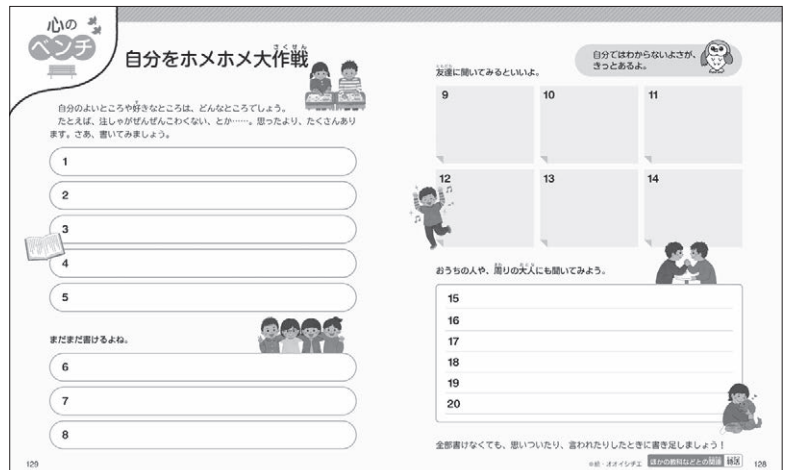
個性の伸長

(P.124・125)



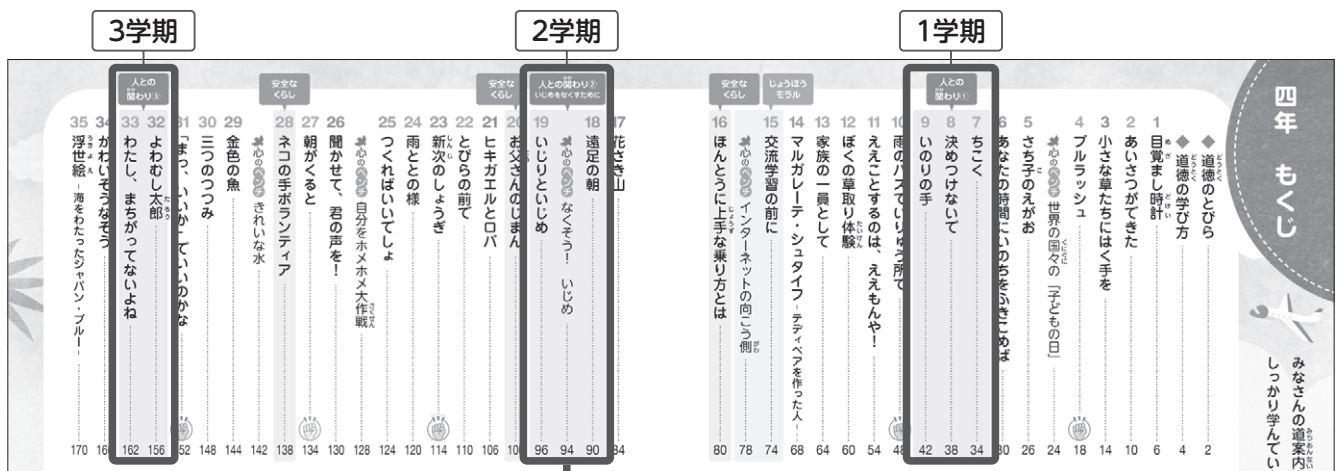
② 自己肯定感を高めるコラム

自己肯定感を高める活動や知識をコラム「心のベンチ」で紹介しています。ありのままの自分を認めることや、人に認めてもらうことが、児童の「心はずむ」生き方につながります。そして、それは、まわりの人を認め、理解することへとつながっていきます。



③ 互いに理解し、認め合う心を育むユニット

重要なテーマである「いじめの防止」について、複数の教材を「人との関わり」としてユニット化しました。学期ごとに配置することで、学級の状況に応じて、集中的に学べるようにしました。



(表紙裏・P.(1))



「人との関わり」ユニット

いじめを直接的に扱った教材
日常の中で起こりがちな「いじめ」の事例などを取り上げたもの

いじめを間接的に扱った教材
「いじめ」を許さない心を育てるために考えたいことがあるもの



① 学びたくなる、考えたくなる紙面構成

児童が学習に取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるようなさまざまな工夫を紙面に施しました。教材の内容を素早く理解できるようにすることで、児童が意欲的に学ぶことができます。

⑤考えてみよう (中心発問)

教材のねらいに迫る発問例を自発的に問いかける形で示しました。

⑥見つめよう・生かそう

学習を通して考えたこと、わかったことを確かめ、深く心に刻んだり、未来への思いや課題について考えたりするための発問例を示しました。



(P.10~13)

④主な登場人物

教材の主な登場人物を示して、内容の把握を助けます。

①内容項目キーワード

本時の学習内容の手がかりを示しました。

②導入の発問例

本時の導入に役立つ発問例を示しました。

③リード文

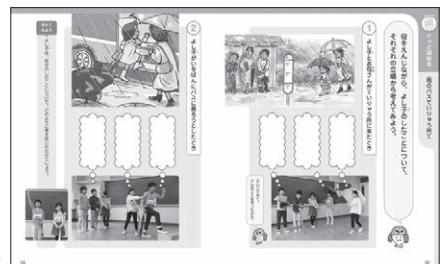
児童の教材に対する理解を助けるために設定しました。

② 主体的・対話的で深い学びを実現する「ぐっと深める」



児童の道徳的価値の理解をよりいっそう深めるための手立てとして、「ぐっと深める」を新設しました。「問題解決的な学習」や「体験的な学習」などの手法を用いた効果的な展開のようすを写真で分かりやすく示しています。児童のこれまでの多様な実践活動を生かしながら、主体的・対話的で深い学びが実現できます。

(P.52・53)



③ 学びを広げ、深める「心のベンチ」「教科書QRコンテンツ」

(1) 視野を広げ、考えを深めるコラムを充実

コラム「心のベンチ」を各学年5箇所配置し、学習した道徳的価値について、児童の思考をより広く深く多面的・多角的な見方、考え方へと誘う内容を取り上げました。道徳科以外の教育活動とも関連づけています。

ほかの教科などとの関連

かんれん
とっかつ
特活



(P.94・95)

(2) 教材理解を助ける「教科書QRコンテンツ」

すべての教材と一部のコラムに、児童の教材理解を助け、学ぶ意欲を高めるデジタルコンテンツを用意しています。紙面にある二次元コードから見るができます。

ワークシート

アニメーション



(P.42~47 「いのりの手」より)

コンテンツの内容

・朗読音声 ・画像 ・アニメーション
・ワークシート ・動画 ・朗読動画 など

※用意されているコンテンツの内容は、教材によって異なります。





① 今、考えておくべき諸課題を扱った教材

現代的・社会的課題に関わりのあるさまざまなテーマの教材をそろえました。多様な人々と協働して、問題を解決しようとする意欲を養います。

主なテーマ ・環境 ・防災 ・平和・人権
・福祉 ・キャリア ・国際理解 など



(P.18・19)

(P.130・131)

② 道徳的価値とSDGsのつながり

持続可能な社会の担い手となる児童にとって、SDGsについて考えることは、道徳的価値の理解を現実的な観点から考えることでもあります。一面的な理解では解決できない課題をみんなで考え続けることを期待しています。



(P.142・143)



コラム「心のベンチ」で、SDGsの視点で考えることを示唆しています。

③ GIGAスクール時代の情報モラルへ

一人一台端末が実現された今、情報のよき使い手となるための資質の育成が求められます。他者への思いやり、法やきまりのもつ意味などについて考えることをもとに、デジタル・シティズンシップ教育への広がりを意識しています。学年の発達段階にあわせて、教材とともに「心のベンチ」で取り扱っています。

「心のベンチ」の情報モラル

- 1年 ▶よい ことかな どうかな
- 2年 ▶「ありがとう」をつたえよう
- 3年 ▶ゲームがやめられない
- 4年 ▶インターネットの向こう側
- 5年 ▶親しき中にもマナーあり
- 6年 ▶めざせ! 情報モラルの達人

一人ひとりの学びに寄り添う（※上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色）

■特別支援教育への配慮

- ユニバーサルデザインフォントを採用しました。文字の大きさのほか、カラーバリエーションにも対応し、色使いなどレイアウトにも工夫しています。また、学習者用デジタル教科書、拡大教科書を発行しています。
- 授業に集中できるよう、すべての教材を見開き構成にしています。
- 読みの負担を軽減するため、当該学年以上の漢字には、教材ごとにすべて振り仮名をつけました。

■人権上の配慮

人権尊重の観点から、教材や挿絵にはジェンダーやSOGI（性的指向・性自認）を含めた多様性に留意し、人権・法教育の専門家に校閲をお願いしました。

■系統性への配慮 一保・幼・小、中の連携

発達の段階を考慮し、保・幼と小（低学年）の連携や、小（高学年）と中の連携についても、教材の選定や表現方法、レイアウトにおいて工夫を加えました。

■保護者への配慮 一家庭、地域との連携

「道徳科」がどのような教科でどのような学習をするのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかをオリエンテーションのページなどで保護者にメッセージ性をもって伝えています。また、道徳ノートを活用するなどして、学校、家庭、地域との連携を図る手立てを提供しています。

■指導者への配慮

多種多様な教材の授業研究や評価の視点の参考となるよう、教師用指導書などの教授用資料を発行しています。充実した授業展開により、子どもたちの学びがますます深まります。

■環境への配慮 一環境にやさしい教科書作り

地球環境への負荷に配慮して、教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しました。

2. 対照表

教育基本法第2条各号に示す教育の目標と図書の構成・内容との対照について、各教材とその該当箇所を表示しました。

基本法第2条 (教育の目標)	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	オリエンテーション	豊かな情操や道徳心を養うため、道徳の授業がより有意義になるよう意義と学び方を紹介しました。	p.2～5
	正直、誠実 23 新次のしょうぎ	不正をして勝ってもうれしくない、むしろ悲しく後ろめたい気持ちになることに気づき、正直に明るい心で生活するための判断力を高めようとした。	p.114～119
	節度、節制 1 目覚まし時計 ほか 16、29	自分で決めたことを守らないと嫌な思いになることに気づき、自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしようとする態度を養おうとした。	p.6～9 ほか
	希望と勇氣、努力と強い意志 14 マルガレーテ・シュタイフ ーテディベアを作った人ー	自分にできることを精一杯努力し、常に新しいことに挑み続けることのすばらしさに気づき、強い意志をもってやるべきことを粘り強くやり抜こうとする心情を育てようとした。	p.68～73
	感動、畏敬の念 17 花さき山	人の心の中にはすばらしいものや美しいものがあるということに気づき、それに感動し、大切にしようとする心情を膨らませようとした。	p.84～89
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	善悪の判断、自律、自由と責任 5 さち子のえがお ほか 18、32	自信をもって正しいと判断したことは行い、正しくないと判断したことは行わないことのすがすがしさに気づき、よいと思うことを進んで行おうとする意欲を高めようとした。	p.26～29 ほか
	個性の伸長 25 つくればいいでしょ	自分さがしをする「わたし」の思ったことや行動について考えるを通して、人は成長できるのだということに気づき、自分を伸ばしていこうとする意欲を高めようとした。	p.124～127
	相互理解、寛容 33 わたし、まちがってないよね ほか 7	相手の立場や状況を理解することの大切さについて考えるを通して、互いを理解し尊重し合おうとする態度を養おうとした。	p.162～165 ほか
	勤労、公共の精神 12 ぼくの草取り体験 ほか 28	「ぼく」の草取りに取り組む気持ちの変化から働く意味を考え、進んでみんなのために働こうとする態度を養おうとした。	p.60～63 ほか
	家族愛、家庭生活の充実 13 家族の一員として	「ぼく」の思いの変化を通して、家族の一員として、役割を果たすことのうれしさに気づき、積極的に家族と関わり楽しい家庭生活を築いていくための判断力を高めようとした。	p.64～67
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	親切、思いやり 22 とびらの前で ほか 11、30	相手の立場になって親切にすることの大切さに気づき、思いやりの心をもって親切にするための判断力を高めようとした。	p.110～113 ほか
	感謝 27 朝がくると	自分の生活を支えてくれる存在に気づき、そのことが当たり前だと思うのではなく、感謝の心をもって生活していこうとする態度を養おうとした。	p.134～137
	礼儀 2 あいさつができた ほか ①	挨拶することが自分の気持ちをうきうきとさせることに気づき、進んで誰にでも挨拶をしようとする意欲を高めようとした。	p.10～13 ほか
	友情、信頼 9 いのりの手 ほか ③	ハンスとデューラーの姿から、友情の美しさを感じ、友達と互いに信頼し、助け合おうとする心情を育てようとした。	p.42～47 ほか
	規則の尊重 10 雨のバスでいりゅう所で ほか 24、31	みんなが気持ちよく暮らすためには、約束や社会のきまりが必要であるという意義を理解し、それを守って行動しようとする態度を養おうとした。	p.48～53 ほか
	公正、公平、社会正義 8 決めつけないで ほか 19	「わたし」の気持ちの変化を考えるを通して、誰に対しても偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接しようとする態度を養おうとした。	p.38～41 ほか
	よりよい学校生活、集団生活の充実 15 交流学習の前に	学級のよさを見つけることの喜びを感じて、自分たちの学級や学校のよさをあらためて考え、みんなで協力して楽しい学級や学校を作ろうとする態度を養おうとした。	p.74～77
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	生命の尊さ 21 ヒキガエルとロバ ほか 6、34	ヒキガエルをいじめることを楽しんでたアドルフたちの反省を通して、すべての生き物の命を大切にしようとする態度を養おうとした。	p.106～109 ほか
	自然愛護 3 小さな草たちにはく手を ほか 26	厳しい環境の中でもけなげに生きている小さな草たちの強さや美しさを感じたりようたを通して、自然に親しみ、大切にしようとする心情を育てようとした。	p.14～17 ほか
第5号 伝統と文化を尊重し、それらははぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 20 お父さんのじまん ほか 35	自分の郷土を見つめ、伝統と文化のすばらしさやそれを守り受け継いできた人々の努力に気づき、郷土に愛着を感じる心情を育てようとした。	p.100～105 ほか
	国際理解、国際親善 4 ブラッシュ ほか ②	世界にはいろいろな遊びがあり、子どもたちが楽しんでいることを知ることから、他国の人々や文化に興味をもち、互いのよさを理解して大切にしようとする心情を育てようとした。	p.18～23 ほか

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学びの流れが見える 一 道徳科の学習の意義や学び方を知る一

(表紙裏・P.(1))

オリエンテーションで、道徳科の学習の意義や学び方などを、児童の発達の段階に応じてわかりやすく示しました。



自分を中心に広がるイメージ図で、道徳科で学ぶ大切なことをわかりやすく示しました。



考えを深めるときの児童のようすを写真で示しています。
また、動画でも具体的な方法を解説しています。

① 授業の流れをつくる「発問例」



教材に応じて、授業の流れに沿った**3つの発問の例**を全教材に示しています。これによって、教師も児童も授業の方向性が共有でき、じっくりと学習活動に取り組むことができます。

[illegible]

② 多様な学習方法で「ぐっと深める」

ねらいとする道徳的価値の理解をよりいっ
そう深めるための手立てとして、そのポイントとなる授業展開の一部を例示しました。


「問題解決的な学習」、「体験的な学習」はもちろんのこと、「多様な実践活動を生かした学習」を取り入れた展開で、ねらいにぐっと近づく深い学びを実現することができます。

ぐっと深める  ▶ 体験的な学習を用いて深める (P.118・119)  

154

「あつ、あつ」といふのは、

それなのに「あつ、あつ」といふ、あつてあつて。



「あつ、あつ」といふのは、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

あつてあつて、あつてあつて。

▲多様な実践活動を生かして深める

(P.136 • 137)

▲問題解決的な学習を用いて深める

(P.154 • 155)

1 児童の心をつかむ多様な教材

心を捉える読み物教材のほか、マンガや写真など、さまざまなジャンルの題材を取り入れました。

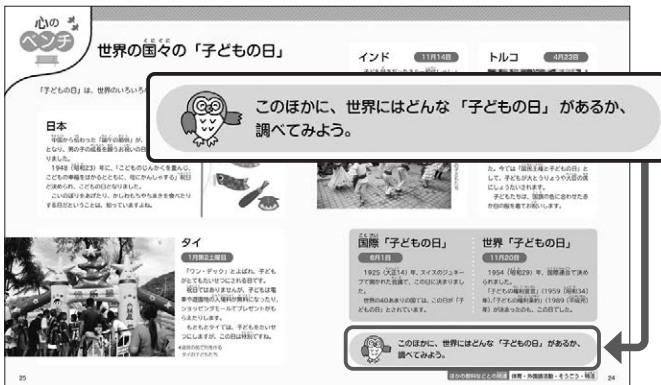
2 児童の考えを広げるコラム「心のベンチ」

「心のベンチ」では、広い視点で物事を捉えられるよう、道徳科以外の学習での活用や他教科との関連も意図しました。

思わず友達の考えを聞きたくなる「ココロウ」の投げかけが、より多面的・多角的な見方や考え方へと誘います。



(P.68・69)



(P.24・25)



(P.110・111)

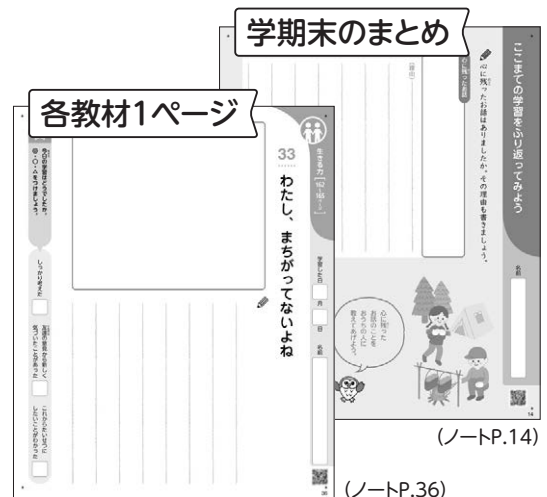
1 児童の成長と指導の効果がわかる「道徳ノート」

■ノートを使うメリット

- ・児童は自分の成長を実感でき、教師は児童の道徳性の成長の様子や学習状況を継続的に把握できます。**評価の根拠**の一つとなります。
- ・発言の苦手な児童の表現の場を保證できます。
- ・自分の考えを整理することができ、**言語活動の充実**が図れます。
- ・一冊にまとまっているため、**保護者との連携**に役立ちます。

■授業スタイルに合わせて、さらに使いやすく

- ・特定の問いを設けず自由に書き込めるようにしました。
- ・二次元コードから立ち上がる「ワークシートデータ」は、授業支援システムなどを介して、教師が幅広く活用できます。



(ノートP.14)

2 教材理解を深める「教科書QRコンテンツ」

授業の導入や展開など、必要に応じて活用できるQRコンテンツで、児童が興味・関心をもって学習に取り組むことができます。

内容

- ・朗読音声
- ・画像
- ・アニメーション
- ・ワークシート
- ・動画
- ・朗読動画 など

児童一人ひとりの学習状況に応じて、道徳ノートや教科書QRコンテンツを活用することで、**個別最適な学び**を実現することができます。



〈 本 教 科 書 の 特 色 表 〉

基本事項	準拠性	教育基本法との関連	・教育基本法第2条の教育の目標を達成するため、特に次の3つの力を育むことを重視して編修しています。 ①「自分を、まわりの人を大切にする力」、②「自ら学びに向かう力」、③「みんなと生きていく力」。
		学習指導要領との関連	・小学校学習指導要領に示された道徳科の目標の実現をめざし、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱い、重点事項や配慮事項を重視しています。
		公正性	・教材の選定、記述に当たっては、内容が一面的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。
		正確性	・検定基準などに照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統		発達の段階への配慮 (保・幼、小、中の連携)	・児童の発達の段階を考慮した内容とし、1年間や6年間を通した系統性に配慮しました。また、「保・幼、小、中」の校種間連携にも配慮しました。
		配列・分量	・「オリエンテーション」、「本編教材」、「ふろく」で構成し、適宜「コラム」を配置しています。 ・各学年の配当時間を実施する上で十分な教材数を配置しています。 ・他教科の学習や様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・カリキュラムや学習の見通しが立てやすいよう一覧性のある目次としました。
		学習意欲・主体的な 学習態度の育成	・オリエンテーションに道徳学習の意義や学びなどをわかりやすく示し、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につながるようにしました。 ・児童の心を捉え、考えを刺激し、多面的・多角的な見方や考え方でできる教材を用いました。 ・教科書QRコンテンツを配し、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮しました。
		主体的・対話的で 深い学びの実現	・オリエンテーションや自我関与を中心とした教材のほか、教材に関連したコラムを設置し、多面的・多角的な見方・考え方へと視野を広げるよう工夫しました。 ・「道徳の学び方」では、「話す」「聞く」「書く」などの言語活動の学習方法を紹介しています。 ・児童が、ねらいとする道徳的価値への理解をいっそう深められるよう、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」、「多様な実践活動を生かした学習」を取り入れた学習展開の参考例として、「ぐっと深める」を設置しました。
	重点課題	現代的・社会的 課題への対応 (いじめ・情報モラルほか)	・人間尊重の精神と生命の尊重を基本に、「いじめの防止」「安全な暮らし(防災・防犯・交通安全)」「情報モラル」などの現代的・社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。 ・特に「いじめの防止」に関しては、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材をユニット化して配置しました。 ・情報活用能力の育成とともに求められる「情報モラル」について、発達の段階に応じて扱えるようにしています。 ・人権尊重の観点から、教材や挿絵にはジェンダーやSOGI(性的指向・性自認)を含めた多様性に留意し、人権・法教育の専門家に校閲をお願いしました。
		伝統と文化の尊重と 国際理解	・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味・関心を持たせ、多様性のある国際社会に思いを巡らせる教材を用意しました。
		社会の持続可能な 発展(SDGs)	・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展に関わる問題についても、発達の段階に即して道徳的な観点から取り扱い、協働的な学びに資するようにしました。 ・コラム「心のベンチ」の一部で、SDGsの目標とのつながりを考えることを示唆しています。
その他		その他の現代的・社会的な課題	・国際理解教育、法教育、キャリア教育のほか、福祉、防災など多様な社会的課題についても取り扱っています。
		家庭や地域との連携	・二次元コードから参照できる教科書QRコンテンツには、朗読音声や理解を深める資料などを付与し、ICT機器を活用した個別最適な学びを提供しています。 ・「道徳ノート」(別冊)は家庭との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして発信し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。 ・児童にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
		他教科等との関連	・道徳教育の要としての特質に鑑み、学校生活を踏まえた教材配列、各教材に関連する他教科等との関連を表示するなど、カリキュラムマネジメントの充実化に役立つよう配慮しました。
		評価のための工夫	・「道徳ノート」(別冊)への記述によって、児童の道徳性の成長を見取り、学習状況を継続的に把握することで、指導と評価の参考となるようにしました。
		特別支援教育の観点 からの配慮(CUDなど)	・すべての児童が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書、学習者用デジタル教科書を制作します。
		判型	・AB判を採用し、写真やイラストを大きくして児童の興味・関心を引きやすくしました。
その他		文字、印刷、製本	・当該学年以上の配当漢字にはすべて振り仮名をつけました。 ・文字は、ユニバーサルデザインに配慮し開発されたUDフォントを使用しました。 ・本文用紙は、軽量な再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しています。 ・製本は紙面が開きやすく堅牢なあじろ綴じで、表紙はコート紙を用いて汚れにくくしました。

2. 対照表

第4学年

図書の構成・内容				学習指導要領の内容			配当 時数	配当学期			
番号	ページ	教材名	主題名	視点	内容項目						
1	6～9	目覚まし時計	節度のある生活	A	節度、節制	1	一学期12時間	前期16時間			
2	10～13	あいさつができた	気持ちのよいあいさつ	B	礼儀	1					
3	14～17	小さな草たちにはく手を	身近な自然とのふれあい	D	自然愛護	1					
4	18～23	ブラッシュ	自分たちの国の文化と他国の文化	C	国際理解、国際親善	1					
5	26～29	さち子のえがお	きっぱりことわる	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1					
6	30～33	あなたの時間にいのちをふきこめば	命をたいせつにする生き方	D	生命の尊さ	1					
7	34～37	ちこく	相手のことを考えて	B	相互理解、寛容	1					
8	38～41	決めつけないで	分けへだてなく	C	公正、公平、社会正義	1					
9	42～47	いのりの手	しんらいし合える友達	B	友情、信頼	1					
10	48～53	雨のバスでいりゅう所で	みんなが気持ちよく	C	規則の尊重	1					
11	54～59	ええことするのは、ええもんや！	ボランティアとは	B	親切、思いやり	1					
12	60～63	ぼくの草取り体験	みんなのために働く	C	勤労、公共の精神	1					
13	64～67	家族の一員として	家族の一員	C	家族愛、家庭生活の充実	1	一学期14時間	後期19時間			
14	68～73	マルガレーテ・シュタイフーティベアを作った人	もっとよくなりしたい	A	希望と勇気、努力と強い意志	1					
15	74～77	交流学習の前に	わたしたちの学級や学校	C	よりよい学校生活、集団生活の充実	1					
16	80～83	ほんとうに上手な乗り方とは	安全に気をつけて	A	節度、節制	1					
17	84～89	花さき山	よさの花をさかせよう	D	感動、畏敬の念	1					
18	90～93	遠足の朝	正しい勇気をもって	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1					
19	96～99	いじりといじめ	だれに対しても	C	公正、公平、社会正義	1					
20	100～105	お父さんのじまん	国やきょう土を愛する	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1					
21	106～109	ヒキガエルとロバ	すべての命をたいせつに	D	生命の尊さ	1					
22	110～113	とびらの前で	進んで親切に	B	親切、思いやり	1					
23	114～119	新次のしょうぎ	正直はだれのため	A	正直、誠実	1					
24	120～123	雨ととの様	少しくらいなら	C	規則の尊重	1					
25	124～127	つくればいいでしょ	長所をのばす	A	個性の伸長	1	二学期9時間				
26	130～133	聞かせて、君の声を！	自然の命を守る	D	自然愛護	1					
27	134～137	朝がくると	身近なことへのかんしゃ	B	感謝	1					
28	138～141	ネコの手ボランティア	ほうしの気持ち	C	勤労、公共の精神	1					
29	144～147	金色の魚	よくばりな心	A	節度、節制	1					
30	148～151	三つのつつみ	思いやる心	B	親切、思いやり	1					
31	152～155	「まっ、いいか」でいいのかな	住みよい社会のためのきまり	C	規則の尊重	1					
32	156～161	よわむし太郎	正しいと思ったことは自信をもって	A	善悪の判断、自律、自由と責任	1					
33	162～165	わたし、まちがってないよね	わかり合うことのむずかしさ	B	相互理解、寛容	1					
34	166～169	かわいそうなぞう	生命あるものをたいせつに	D	生命の尊さ	1					
35	170～175	浮世絵 ー海をわたったジャパン・ブルーー	たいせつにしたい日本の伝統と文化	C	伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	1					
①	176～177	フィンガーボール	れいぎにこめられたもの	B	礼儀	1					
②	178～181	いろいろな食べ方	外国とのちがいを受け入れて	C	国際理解、国際親善	1	—	—			
③	182～185	絵はがきと切手	友達のことを考えて	B	友情、信頼	1	—	—			
計						35					
ふろく						3					

〔備考〕

- ・表の「学習指導要領の内容」は学習指導要領第3章第2の内容についてを表す。視点のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を示す。
- ・番号①②③の「ふろく」教材は、本文教材の補充性を目的に使用するため、配当時数には含めていない。